Info 福祉灯油等購入費を助成します

問社会福祉課　☎52-2119

市では次の世帯に久慈市福祉灯油等購入費を助成します。

事前調査の段階で、対象になると思われるご家庭に通知書などを送付しています。助成対象世帯に該当すると思われるのに通知書が送付されない場合、または平成24年1月2日以降に市に転入された方で該当すると思われる場合は、1月7日(月)以降に社会福祉課までご連絡ください。

▼助成額
5千円

▼対象世帯
左表の①と②の条件を満たす世帯

▼申請受付期間
1月15日(火)～3月15日(金)
平日9時～17時

※土・日・祝祭日を除く

▼申請会場
①市役所（1月中は1階市民ホール、2月以降は1階福祉事務所）②山形総合支所・宇部支所・侍浜支所・山根支所

▼必要な書類
○通知書○申請書○振込先口座通帳の写し○障害者手帳など提示書類一式（郵送の場合は写し）○印鑑

▼郵送での申請
3月15日(金)（当日消印有効）までに左記の宛先に送付ください。

〒028－8030
久慈市川崎町1番1号
久慈市福祉事務所
社会福祉課

【対象世帯（①と②の条件を満たす世帯）】

①全てに該当	○住民基本台帳等に登録され市内に居住する世帯 ○世帯全員が平成24年度住民税非課税（平成23年中の所得）
②いずれかに該当	○満65歳以上の高齢者のみの世帯（平成25年3月31日までに達するものを含む） ○重度心身障害者医療費を受給する者の属する世帯 ○身体障害者手帳1級及び2級の者の属する世帯 ○特別児童扶養手当障害等級1級の者の属する世帯 ○療育手帳最重度又は重度の者の属する世帯 ○精神障害者保健福祉手帳1級の者の属する世帯 ○生活保護受給世帯 ○母子・父子世帯又は養育者世帯

Info 保育園の入所申込を受け付けます

問子育て支援課　☎52-2169

申込期限1月25日

保育所（園）は、保護者や同居の親族が働いていたり、病気などのため保育できない時に、保護者に代わって児童を保育する、最も身近な子育て支援の施設です。

市では、平成25年4月1日からの保育所への入所申し込みの受け付けを開始します。入所を希望する人は、次により申し込みください。

入所申込書などの書類や入所案内は、各保育園と子育て支援課（市役所1階）で配布します。

各保育園などの情報は市ホームページにも掲載してありますので、どうぞご覧ください。

▼受付期間
1月7日(月)～25日(金)

▼申込先
入所第一希望の保育園
※市外の保育所への入所を希望する場合は、お早めに子育て支援課に申し込みください。

▼申込方法
入所申込書に、必要な書類をそろえて申し込みください。
※提出書類は家庭の状況によって異なるので、入所案内をご確認の上準備をお願いします。ご不明な場合は問い合わせください。

新規希望は面接も

平成25年度から新たに保育所への入所を希望する人には面接があります。

次の日程で入所面接を行いますので、都合に合わせてお越しください。

▼面接日時
2月4日(月)～8日(金)
9時～17時
※2月4日は18時30分まで

▼面接会場
子育て支援課

ELECTION

衆議院選挙の開票結果

12月16日、第46回衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査が行われました。

本市の当日の有権者数は30,712人で、小選挙区・比例代表選出議員の投票者数はそれぞれ18,163人と18,162人。投票率はどちらも59.14%でした。

開票結果は次のとおりです。

小選挙区選出議員岩手県第２区

候補者等名	久慈市
畑　こうじ	8,667票
すずき俊一	8,239票
くじ茂雄	864票

比例代表選出

政党等名	久慈市
自由民主党	5,211票
日本未来の党	4,709票
民主党	1,992票
日本維新の会	1,353票
公明党	1,232票
日本共産党	895票
みんなの党	794票
社会民主党	653票
新党改革	101票
幸福実現党	80票

News 山ぶどうの魅力 全国発信！

「太陽の山ぶどう倶楽部（くらぶ）」が設立

久慈地方特産のヤマブドウを活用した地域産業の活性化を目指し、イオンリテール株式会社（村井正平社長）と久慈地方のヤマブドウ生産・加工関係団体など8者は11月21日、久慈地方連邦「太陽の山ぶどう倶楽部」を設立。同日、山形総合支所で設立総会が行われ、関係者ら8人が設立趣意書に署名しました。

山内隆文市長は「ヤマブドウの可能性を広げて地域の活性化につながることを期待します」とあいさつ。イオンリテールの松巾（まつはば）幸一執行役員は「今後は『太陽の山ぶどう』の統一ブランドの商品開発を目指し、継続的なお付き合いをしたいです」と述べました。

同倶楽部の設立は、同社が食文化継承に向けて取り組む「フードアルチザン（食の匠）」の一環で、県内では3例目。ヤマブドウの新たな価値や魅力を全国に発信していきます。

全国のイオン91店舗で販売されるヤマブドウワイン（中央）

設立趣意書に署名した関係者ら

News 孫と一緒に住めるまち

元気なコミュニティ特選団体に認定

世代間交流やふれあいサロン、環境活動などを積極的に行う横沼町内会（大向達夫会長）は、日ごろの取り組みが評価され、9月に県から元気なコミュニティ特選団体として認定されました。11月25日、世代間交流会に併せて認定を祝う会が横沼公民館で開かれ、約70人が参加しました。

地元の食材を使用した料理教室では、児童らもサケの中骨を活用したお菓子の袋詰めを手伝いました。お楽しみゲームでは囲碁ボールで交流。高齢者と児童らは歓声をあげながらゲームを楽しみました。

大向会長は「『孫と一緒に住めるまちづくり』が目標。今後は侍浜町全体の活動に広げていきたいです」と抱負。参加した越戸千之助さんは「毎月のふれあいサロンが楽しくて生きがいを感じます。子どもたちとのゲームも幸せそのものです」と笑顔でした。

一生懸命にお手伝い

子どもたちとの交流に笑顔がこぼれます